

施策番号 2-1-2	施策名 社会教育の推進	基本目標	心豊かで輝く人と文化を育むまちづくり			
		政策名	豊かな心を育む人づくりと生涯にわたる学びの充実			
	主管課	生涯学習課	課長名	日下勝祐	内線	451
	施策関係課	教育推進課				

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果
学習機会や場の提供など学習環境の充実を図るとともに、自発的な取組への支援を図ります。		町民	・「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学ぶことができる学習環境を整備する					町民一人ひとりが自ら進んで学習に取り組み、人と人がふれあい、心豊かに充実した生涯を過ごせるまちづくり
成果指標	説明	単位	策定時(2017実績)	2019年度実績	2020年度実績	2021年度(予想)	2022年度目標	
① 児童生徒の社会教育事業への参加者数	生涯学習課(旧社会教育課)調べ	人	1,313	881	595	600	1,190	
② 生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合	住民意識調査	%	39.1	75.4	80.0	80.0	45.0	
③								
④								
成果指標設定の考え方	①児童生徒数の減少率を考慮するも参加率を維持するもの。 ②前期計画で達成できなかった40%の目標値を超える評価を目指すもの。 (※住民意識調査の回答項目を5択→4択に変更)							

2. 施策の事業費

	2018年度決算	2019年度決算	2020年度決算
施策事業費(千円)	148,955	115,606	141,350
人工数(業務量)	3.4688	3.7783	3.5428

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①2020年度の成果評価	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①社会教育事業全般、特に児童生徒を対象とした体験・交流事業はコロナ感染症の影響により中止を余儀なくされるなど、十分な事業の実施とならず成果を上げることができなかった。 ②社会教育関係団体の活動への評価とコミュニティ・スクール活動への期待が込められたものと解している。
②2022年度の目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取組の延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	児童生徒の社会教育事業の参加については、コロナ感染症の影響等を見極め、徐々に体験・交流事業を再開するとともに、コミュニティ・スクールやジモト大学事業の推進により達成可能。 また、生涯学習機会の充実では、コミュニティ・スクールでの地域住民の参画を積極的に推進することや、公民館、図書館、高齢者学級の実施のほか、社会教育関係団体の活動充実により達成可能。
(2) 施策の成果評価に対する2020年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業		②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	社会教育事業全般にわたり、年度当初に計画していた事業はコロナ感染症の影響によって、ほとんど実施できない状況となった。特に児童生徒への体験・交流事業などの中止は、学校生活のみならず、課外活動においても大きな制約や支障が生じることとなり残念な結果となった。図書館や公民館の利用者にもご不便をおかけすることとなり、若い世代から高齢世代まで社会教育事業への参加に制限が多く、満足の得られる結果とはならなかった。 しかしながら、コミュニティ・スクールの実施において、地域のボランティアの皆さんをはじめ協力を申し出てくださる団体など、今後の地域コミュニティの充実へ着実に進んだ事業もある。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した
- E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習において「いつでも、どこでも、誰でも」が自由に学べる学習環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> →学習形態の多様化に対応するための住民ニーズに沿った事業検討(デジタル学習への対応など) →地域住民のくらし満足度に寄与する学習機会の確保、地域コミュニティ充実への環境づくり ・子ども、子ども会活動の減少 <ul style="list-style-type: none"> →地域活動や広域での連携、世代間交流の実施などによるコミュニティ活動の推進 ・コミュニティ・スクールやジモト大学事業の取組みによる地域コミュニティの活性化、地域教育力の向上
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの取組について周知方法の多様化 ・子ども会活動の継続支援(単位会の減少や役員のなり手不足) ・公民館の施設充実(改修に向けて機能強化) ・図書館の空調と通信環境の改善

5. 施策の成果向上のための具体的な取り組み(今後強化すべき取り組み、新たに実施すべき取り組み)

<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育推進中期計画(H31-R4)の着実な推進 <ul style="list-style-type: none"> →コミュニティ・スクールの推進。地域学校協働活動の推進による学校・家庭・地域・行政の連携強化。地域コミュニティの活性化。 →ジモト大学事業の実施。持続可能な地域社会の創り手育成のため、コミュニティ・スクールと連携して実施。郷土愛の醸成など。 →高齢者学級の学習プログラムの随時見直しと、通園のための交通手段の確保 ・社会教育施設の有効活用と維持管理 <ul style="list-style-type: none"> →公民館の機能整理(教委事務所移転後の改修) →図書館機能の再点検(学習環境と図書のとおり) →かっこう、ねんりんの運営方法と維持管理の適正化

6. 経営戦略会議(庁内評価)

評価	成果指標等から、前進したと評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	5に記載の取り組みを進めてください。	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	成果指標やコミュニティスクールの取り組み等から、「C前進した」と評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールの存在を知らない保護者のためにも、周知や募集の方法をより工夫してほしい。 ・コミュニティスクールの情報について町内会に情報が入ってこない。地域といいながら町内会としては何をすればいいのか。町内会で協力できる部分はしていきたい。 ・子供同士や、揖斐川町・トレーシー市との交流にタブレットを使用してみてはどうか。 ・コミュニティスクールを多くの人に知ってもらうために、ホームページやFacebook等に記載されている情報を紙にして、施設に置いていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (前期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (前期実施計画策定時と比較して)前進した D: (前期実施計画策定時と比較して)変わらない又は維持した E: (前期実施計画策定時と比較して)後退した 				